

2017年3月20日

2017年度中学校3年生卒業礼拝&後期終業礼拝

奨励



静岡英和女学院中学校・高等学校
校長 吉田 幸一

賤機山にさくらが香る季節になりました。コート、マフラーなどから開放されて暖かな春を待つ心弾む季節となりました。先ごろ閉幕した平昌冬期オリンピック・パラリンピックでは、アスリートの活躍のなかで、平和への雪解けの兆しが見えはじめたことはいずれのことではあります。

ご在天の神様に中学校3年生の義務教育の過程を無事に修了できましたことを感謝し、また、中学校1・2年生と高等学校1・2年生のこの1年間の豊かな実りを神様に感謝いたします。

義務教育の課程を修了した68名の中学校卒業生の皆さんにお祝いを申し上げます。また、本日雨天にも関わらず、静岡英和女学院中学校卒業礼拝にご臨席いただきました保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。静岡英和女学院中学校ご卒業誠にありがとうございます。

中学校卒業証書授与のほかに、本日は各賞の表彰が沢山ありました。受賞した生徒の日頃の努力と成果に対して、全校生徒と教職員は心より称えたいと思っています。

「It is never too late to learn.」この言葉を知っていますか。学ぶことに遅すぎることはない。中学校、高校生の時でも、本校卒業後の上級学校でも、社会人に成ってからでも私たちの心と生活を豊かにしてくれるものとして学びがあります。例えば、リカレント教育という言葉を知っていますか。社会に出てからも学校や様々な教育機関で学び直しができる教育システムです。学びと仕事などの諸活動を交互に行う教育システムとして、積極的にリカレント教育を活用している諸外国もあります。教科書を通して学べる期間は小学校から高等学校までが一般的です。大学に進学すると一般教養課程ではテキストを通しての一斉授業が大半ですが、専門課程では、自ら選んだテーマに沿って研究を進めていきます。従って、教科書の上での学びをこの学院に在学している期間にしっかりと習得してほしいと願っています。ホームルームで、成績表が配布されます。各教科の評定、生活態度等の所見に目を通し、1年間の振り返りをしっかりとしてみましょう。そして4月からの新たな学年での生活を有意義なものとするためにも、不断の努力と自主的な学校生活を送れることを期待しています。

また、本日の卒業礼拝には多くの保護者の皆さんも臨席されていますので、教育の場としての家庭生活の重要性にも触れておきたいと思います。学びの機会は学校のみならず、家庭にもあるとい

うことです。家庭教育は、家庭での教育方針の基で、生活態度を醸成するなどすばらしい機会となります。いわば家庭教育は輝くキャンドルの燭台なのです。未来に向かって輝き続ける生徒たちはキャンドルであり、それを支えるのが学校と家庭なのです。学校と家庭が連携しながら、英和生の未来への灯を輝かせるためにも、その燭台の役割を果たすことで、生徒たちの（我が子の）成長を見守りつづけることができるのではないのでしょうか。

マタイによる福音書 7章 24 節から 27 節には次のことが記されています。「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨は降り、川はあふれ、風が吹いてもその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。わたしのこの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方はひどかった。」しっかりとした土台が礎となりますので、日々の努力により自己の土台を築いていきましょう。

本学院は 130 年間にわたり、静岡県にあって伝統ある学校としての名声を上げてきました。純白のカラーとカフスの制服を街の人が見かけたときには、流石に英和生は素晴らしいと言っただけよう努めてほしいと思います。生徒の皆さんも英和生としての自負を是非とも持ってほしいと考えています。

お祈りします。

ご在天の父なる神様。御名を賛美します。中学校 3 年生の卒業礼拝と在校生の終業礼拝を迎えることができましたことに感謝いたします。感謝と賛美のうちにこの 2017 年度を終えることができます。この 1 年間をつつがなく過ごすことができましたことに感謝いたします。そして、私たちに祝福してください。中学校の課程であるこの 3 年間の実りと 2017 年度の 1 年間の貴重な知識と経験を得ることが出来ましたことに感謝いたします。心と身体の健康を御守り、日々の努力が前進に、そして日々の祈りが大きな成長をもたらしてくださるよう今後も御導きください。また、様々な理由からやむなく学院を離れる生徒にあっては、この学院で培ったスピリッツを忘れることなく生活できることを御守ってください。父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にいつも豊かにありますように。

慣れにし学びの 家を忘れず おしえの御親の 恵みを思い
み神のさかえを 常にあらわし したしき友だち うからやからに
まことと愛とを 携えかえらん

この祈りを主イエス・キリストの御名により、御前に御捧げ致します。

アーメン